



郵便受けから 郵便物が抜き取られる犯罪にご用心！

～あなたの大事な情報が抜き取られないために～

ごぞんじでしたか？
住宅部品 Vol.2

発行/一般財団法人ベターリビング

発行日/2023年5月23日

郵便受けから郵便物が抜き取られる犯罪が、 増えていることをご存じでしょうか？

郵便物が盗まれると、手紙や物品を失うだけでなく、郵便物に含まれる個人情報
が悪用されるケースにもつながるため、注意が必要です。

たとえば銀行、クレジットカード会社や証券会社などから送られる郵便物は、
氏名や生年月日などのプライバシー情報に加え、何を購入しているか、どんな
投資活動をしているのかなど、資産の状況を窺い知ることができる大事な情報
が含まれています。

近年、窃盗団による強盗傷害事件が多発していますが、犯行グループは事前
に様々な下見調査を行うなかで、郵便受箱から郵便物を抜き取るケースもあ
ると言われており、注意が必要です。



郵便受けからの郵便物の抜き取りを防ぐために、どのような対策をとればよいのでしょうか。

- ①郵便受箱は施錠可能なものを選びましょう。
- ②郵便受箱の投入口から郵便物が抜き取られにくいものを選びましょう。
- ③郵便受箱はなるべく見通しのよい場所に設置しましょう。
- ④郵便受箱の郵便物はこまめに回収し、郵便物を溜めないようにしましょう。

※対策の詳細については、P2、3をご参照ください。

郵便受箱とは

郵便受箱は、その名の通り郵便物を受ける箱です。戸建て住宅では、玄関や門扉に組み込まれるものが多く用いられ、
集合住宅では、多くの場合、エントランス周りに複数住戸分がまとめて設置されています。投入口から郵便物等を投函
し、取出扉を開けて中身を取り出す構造が一般的です。

複数住戸用



前入・後出



前入・前出

1住戸用



前入・前出

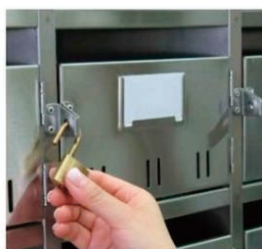
郵便物の抜き取りを防ぐための対策

①郵便受箱は施錠可能なものを選びましょう。

郵便物を取り出す取出扉に施錠できるものを選び、第三者が容易に郵便物を取り出せないようにしましょう。
主な施錠方法には下記の写真のようなものがあります。

■主な施錠方法

仮締め錠



(南京錠により施錠する)

ラッチ錠



ダイヤル錠

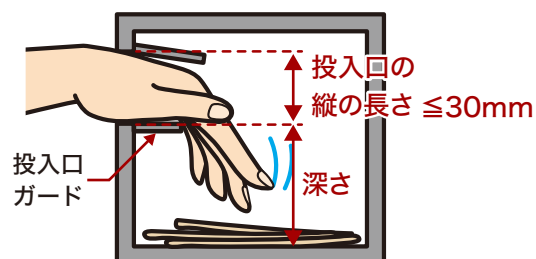


(暗証番号にダイヤルを回して解錠する)
※ダイヤルを回し確実に施錠することが
必要です。

②郵便物の投入口から郵便物が抜き取られにくいものを選びましょう。

一般的に30mmより大きい隙間があると、大人が手を入れることができますと言われています。つまり、投入口の縦の長さが30mm以下で、一定以上の深さがあるものは、手を入れても底面に指先が届かないことから、抜き取りづらい構造であるといえます。

■投入口の縦の長さとの関係



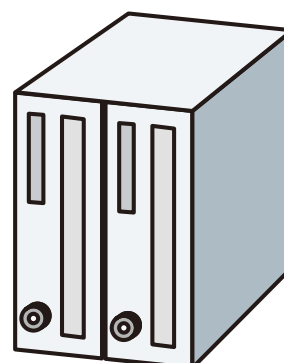
優良住宅部品認定基準

「郵便受箱」では投入口の縦の長さが30mm以下の場合、投入口下端から郵便受箱底部までの距離が投入口の縦の長さ $\times 115/35$ を乗じた長さ以上であることを求めています。

一方、昨今のネット通販の利用拡大により、小型の宅配物は郵便受箱に投函されるケースが増えています。そのため、「投入口が大きい方が宅配物を投函しやすい」ことをセールスポイントにした製品が販売されていますが、投入口の縦の長さが30mmを超える場合は、投入口に投入口ガード、内部フラップ等を取り付ける防犯対策が必要です。また、縦置き郵便受箱は、深さに関係なく投入口から郵便物に指が届くため、この場合も同様の防犯対策が必要です。



防犯対策の例(内部フラップ)



縦置き郵便受箱

③郵便受箱はなるべく見通しのよい場所に設置しましょう

- 郵便受箱を見通しが良い場所に設置することで、防犯効果が期待できます。
- さらに、照明等により明るさを保つことも有効です。

④郵便受箱の郵便物等はこまめに回収し、溜めないようにしましょう

- 郵便受箱に郵便物やチラシ類が溜まることで、投入口から郵便物に手が届きやすくなり、抜き取られる危険性が高くなります。
- 郵便物が溜まっていると、不在にしている期間が長いと思われ、窃盗犯に狙われるリスクが高くなります。